

外部検証委員会（産業分野）次第

日時 令和2年11月30日（月）午後3時から

場所 益子町役場3階第2委員会室

1 開会

2 出席者紹介

3 配布資料の確認

4 案件

（1）概要説明（産業建設部長）

（2）施策ごとの検証（シート毎ではなく、各施策・複数課のシートに渡り質疑）

（3）その他

5 閉会

外部検証・意見シートの提出について

既にお配りしている「様式2 外部検証・意見シート」につきまして、本委員会終了後10日を目安に、返信用封筒をご利用いただきご回答をお願いします。

新ましこ未来計画外部検証委員会（産業分野）議事録

日時	令和2年11月30日(月) 15:00~16:20	
場所	役場 第2委員会室	
出席者	委員	佐久間委員、鈴木委員、萩原委員、宮崎委員（欠席：）
	職員	池田産業建設部長、大塚農政課長、福田観光商工課長
	事務局	佐藤係長、出口
配布資料	次第、推進状況総括シート、推進シート	

発言者	発言要旨
産業建設部長	<p>1. 開会</p> <p>2. 出席者紹介</p> <p>3. 配布資料確認</p> <p>4. 案件</p> <p>(1) 概要説明</p> <p>総括シートにより説明</p>
	<p>(2) 施策ごとの検証</p> <p><u>OP.32 施策1 農業生産体制の整備</u></p> <p>質疑なし</p>
	<p><u>OP.34 施策2 地域農産物の販路開拓</u></p> <p>質疑なし</p>
委員	<p><u>OP.36 施策1 商店の活性化と起業支援の充実</u></p> <p>マシポカードが配布されたが、次期計画の意見としても出したが、セブンイレブンのナナコカードのように、マイクロチップ入りのカードにすれば、チャージができたり、キャッシュレスとしてより便利なのではないか。</p>
福田課長	<p>現在は、カード自体に機能の制限をかけているためポイントだけの運用になっている。将来的にはチャージできるように移行したいと考えている。</p>
事務局	<p>次期計画の中でもマシポカードについては、電子マネー化を推進するような踏み込んだ内容を検討しているので、今度実施するパブリックコメントで確認いただきたい。</p>
委員	<p>マシポカードを利用できるお店はどのような所か。</p>
福田課長	<p>現在 68 店舗が登録になっており、今後店舗を増やしていく予定。加盟していただ</p>

	く際にマシポカード専用のアイパッドを配布し、町が訪問して使い方のレクチャーを行っている。
委員	陶器市の際にテント販売をしている人の中には、クレジットカード決済ができる機材を持っている人もいるが、それにもポイント付与が対応できるのか。
福田課長	クレジットカード使用でもポイント付与ができるが、実際にするかしないかは、現在は店舗側で判断していただいている。
委員	気仙沼のポイントカードを参考にしているようだが、システムはだいたい一緒か。
福田課長	その通りである。ポイントの有効期限は3年間なので、4年目に入った時点で失効する。
委員	現在のマシポカードの申請者数はどれくらいか。
福田課長	全世帯を対象としているが、約3分の2の申請があった。
委員	WEBでも申請できると若者も使いやすいと思う。
産業建設部長	申請の仕方、登録店舗の拡大、利用者を増やすことが今後の課題である。次期計画にも明記し、課題解決のために努めていきたい。
委員	OP.37 施策2 ものづくりの育成・支援 コロナウイルスがはやった時期はいちごが余ってしまったが、道の駅の加工所でジュースやドライフルーツなど商品開発を一緒にやってもらったおかげで、あまりロスが出なく助かった。ほかの農家にもお声かけいただいて、今後もっとPRしてもらえば、ロスも減るし、新商品も増えていいのではないかと。
産業建設部長	6次産業のポイントとして、農産物を無駄にしないという事があり、道の駅の加工所が稼働してからまだ半年ではあるが、商品の開発も含めて、フル稼働状態にある。一度実績を整理して生産者に示すなど、今後検討していきたい。新加工場は冷凍庫も備えているので、少し時期をずらした販売も可能なため、活用していければと思う。
委員	需要に対して供給が追いつかない状況なのか。また、町内外どちらの生産者も利用可能か？
産業建設部長	加工所の特色は、少量多品種であり、それに対応できる生産者がなかなかいないのが現状。基本は町内の生産者が優先であるが、町外・県内外の生産者も可能。

大塚課長	少量生産・加工ができる加工所が少ないことから、生産者協議会や道の駅の横のつながりから情報を得てくる人もいるようだ。
委員	商品加工からラベルのデザインまで親身に相談にのってくれるので、満足のいく商品作りができると思う。町内総生産も上がるのもっと利用してもらおうべきだ。
委員	<p>OP. 38 施策3 「世界一」人が集う焼きものの町づくり</p> <p>益子焼単体で商品を販売するのは難しい。例えば、ラスク販売やレストラン経営をしている販売店もある。道の駅で行っている加工品等も城内坂の小売店と提携して販売してほしい。益子焼だけでは、観光客はなかなか滞在してくれない。親は見たくても子供が飽きてしまう。もっと楽しみがたくさんあれば、子供たちも飽きず宿泊もしてもらえるのではないか。</p>
産業建設部長	城内坂のイメージを焼き物だけでなく違う形にしたいということか。来春のDMOの立ち上げに向けて町は準備しているが、大きな役割として、焼き物の売り上げが春と秋の一極集中ではなく、通年で売れるような仕掛けができるよう検討している。陶器市以外で人が出て、物が売れるかが課題である。
委員	いちごも益子焼の器に入れて道の駅で販売しているが、他にも陶器と一緒に販売すれば変わってくると思う。農業と商業が連携して違う売り方をするのは、やってみる価値はあると思う。
産業建設部長	見せ方と売り方を研究・勉強していきたい。
委員	ブランド商品の認定について、次期計画でどのように進めるのか。
福田課長	認定については、販路まで考えなければ、認定しても意味がない。現在要綱づくりを進めているが、売り先も視野に入れた認定制度を検討している。
委員	認定するのに売り先が先に決まらなければいけないのか。
福田課長	先ではないが、ただ認定してシールを張るだけではなく、売り先を見越した形で検討したい。
委員	ブランドに裏付けされる品質が目に見えるように、基準を作ることが大事なのではないか。
委員	<p>OP. 39 施策4 就労支援と雇用創出</p> <p>窯業支援センターを卒業する人は全員が益子町内の窯業関係で働いているわけではない。県費で運営し、毎年10名入って、10名卒業しているが、町外に流れてし</p>

	まっている。笠間にも窯業支援センターがあったが、大学校になり有料になったため、無料で受講できる益子に応募が集まってくるが、益子では就職できる場所が少ないし、窯業を生業にするのは大変なので、ぜひ町の協力があればありがたい。
委員	県の農業大学のイチゴ学科は全国に募集をかけ、倍率が 70 倍となっているため入るのが難しいが、卒業後は県外に流出してしまうのもったいない。
委員	自分が経営する飲食店には窯業支援センター卒業生がアルバイトをしている。店を出している器は彼が作ったものである。そういう流れがあるといい。
産業建設部長	移住定住の観点からも、町として窯業支援センターと話す機会を設けてみる。ちなみに、作業場付き物件の情報はどこから得られるのか。
委員	組合員からの情報しかわからないのが実情。現在は、益子に隣接している県内の市町村で作っている焼き物を益子焼と呼んでいる。陶芸家に特化した物件情報を充実できれば、呼び込みにも有利なのではないか。
	○P. 40 施策 1 観光客誘客の拡大
委員	DMO の立ち上げや日本遺産認定は追い風である。観光協会など現状ある組織との棲み分け・整理を今年度中にしていく必要があるのではないかと。
産業建設部長	各団体との役割分担については、話し合いをしていく必要があると考えている。
委員	魅力度ランキングで最下位になったので、そこを逆手に取り、取り組んでいかなければならない。
	○P. 42 施策 2 外国人観光客（インバウンド）の誘客
委員	今年は外国人観光客の誘客は厳しい。城内坂でも東京ナンバーの車をみると正直怖い。今後も WEB 販売を考えていかなければならないだろう。組合で販売している土や材料が、コロナの影響で在宅している人が増えたので売り上げが伸びると思ったが、予想外に売れなかった。
委員	いずれは回復してくるので、すぐにプロモーションできるように準備をしていく必要がある。
福田課長	町内の作家さんで材料を購入する方はどうだったか。
委員	減っている。4 月前までは春の陶器市を想定して材料を購入していたが、実施しなかったもので、そこから売れていない。

委員	インターパークで出店販売を実施したようだが、どうだったか。
委員	SNS を活用して情報を発信していた方は、よく売れたようだ。インターパーク側はいい集客になったと喜んでいただとのこと。
委員	陶器市は来ていただくことで、飲食店やお土産屋さんでの消費にもつながるが、WEB陶器市はどうしても陶器だけになってしまう。インターパークの売り上げにつながったように、来てもらうことで経済が回るので、来春の陶器市についてはやり方について検討する余地があるのではないかと。
	(3) その他 外部検証・意見シートは10日程度を目安にご提出をお願いしたい。
	5. 閉会